

ふるさとCM大賞～伊達博物館をPR～

片上遼斗 都能光莉 西田あおい
横田惟朱 脇田翔矢
指導者 長瀧 剛

・応募のきっかけ

伊達博物館への訪問をきっかけに、宇和島には全国に誇れる歴史や文化などの魅力がたくさんあると改めて感じた。その魅力を多くの人に知ってもらうため、伊達博物館のCMを作成しようと考えたから。



現在の伊達博物館（R7.）



現在の伊達博物館（R7.11.12）

素晴らしい魅力が県民に伝わっていない

宇和島市には伊達家の歴史や豊かな自然、受け継がれてきた文化など、誇るべき魅力が数多く存在する。これらの魅力を改めて発信し、若い世代が「知る・感じる・誇れる」きっかけをつくることが、人口減少の歯止めや未来の宇和島を支える力につながると考える。

・**動画作成の期間**・・・約2か月

・**ターゲット**・・・愛媛県民（EAT が観られる地域）

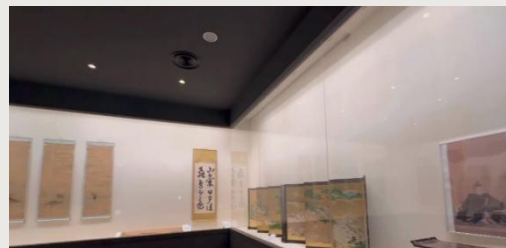
・**地元の課題**・・・若い世代の地元への関心の低さと人口減少

動画作成の一部の画像です！

宇和島東高等学校

伊達っ子調査団

未来へ繋がる歴史



戦が終わり、世が変わっても
守り続けたものがここにあります



同じ伊達一族の中でも仙台伊達家の分家として
江戸時代に誕生した名門です



同じ伊達一族の中でも仙台伊達家の分家として
江戸時代に誕生した名門です

団体名：伊達っ子調査団

動画の題名：未来へつながる歴史

CMを通して伝えたいこと

宇和島の魅力を「特別な人」だけが守るのではなく、地域の人々の協力で宇和島の歴史を守ること。伊達家の歴史をはじめとする受け継がれてきた文化や人のあたたかさは、今も宇和島に根付いている。

若い世代が地元を知り、興味を持ち、誇りに思うことが、人口減少や地域の衰退を防ぐ第一歩になる。

今後の予定

宇和島市が抱える人口減少や若い世代の地元離れといった課題を踏まえ、CMの具体的な制作に取り組んでいく。

伊達博物館や宇和島の歴史・文化について調査を行い、伝えたい魅力を整理する。

若い世代の視点を意識したナレーションや構成を考え、共感を生むストーリーを作成する。